

「長良川9.12豪雨災害リレーパネル展」

In ハートピア安八 (2026/06/09～06/21)

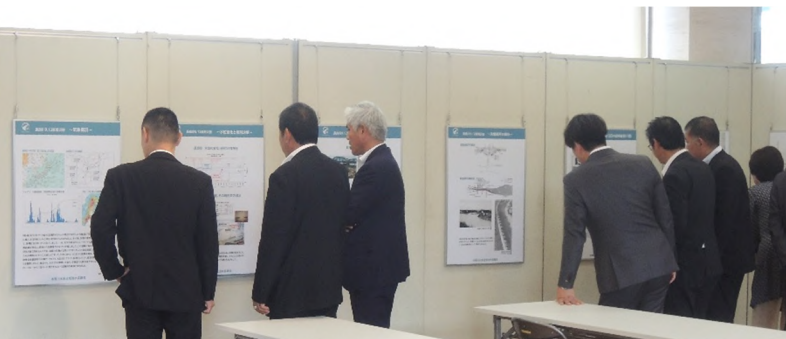


長良川9.12豪雨災害

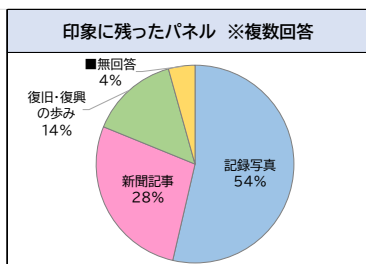
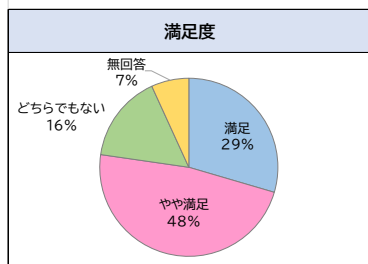
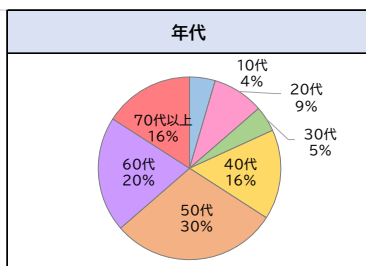
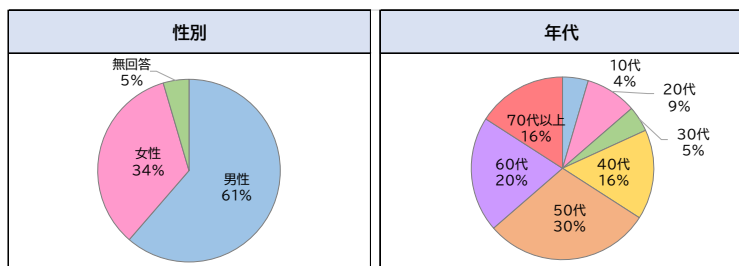
木曾川上流河川事務所

昭和51(1976)年、岐阜県安八町での堤防決壊などにより長良川沿いに広く浸水被害をもたらした「長良川9.12豪雨災害」から、今年で50年がたちました。

自然災害が多発する今、長良川9.12豪雨災害の被害や復旧活動の写真を中心に展示することにより、その時の経験と教訓を次世代へ語り継ぎ、防災意識を高めて地域防災力の向上につなげていくため「リレーパネル展」を開催しています。



【パネル展に関するアンケートの結果】 (回答人数:44人)



<アンケート結果のまとめ>

約8割(77%)の方が「満足」または「やや満足」と回答し、多くの来場者から好評をいただきました。また、「記録写真」が最も印象に残った展示として挙げられ、幅広い年代の皆さまにご来場いただく有意義な展示会となりました。

<パネル展への主な感想>

- 水害は怖いと感じた
- 今後の防災対策がとても大事と思う
- 定期的にやってほしい
- 写真がもっとたくさんあると見応えがあると思う
- 当時の状況を知ることができ、今起こった時何ができるのかを考えさせられるような展示ばかりであった
- 防災備蓄品の見直しなどを家族で共有していきたいと感じた
- 災害への動きがわかるタイムラインを入れてほしい
- 防災拠点整備も取り上げてほしい